

大工場ハ第一第三日曜日全休トス事務ハ此ノ限りニ限ル  
 工場法ノ適用ヲ申請スルコト  
 八 健康保険法ノ適用ヲ受クルコト  
 九 職務ニ對シテハ忠實ヲ旨トシ不都合ノ所為アルコトジキコト  
 十 店主並ニ其後ニ對シ不逞ノ行為クナサルコト  
 十一 今後両者間ニ於テ雇傭条件ニ因リ不平等アル場合ハ警察ノ外第三者ノ介在ヲ許  
 サルコト  
 十二 従業員側ニ於テ未竟者ヲ遵守シ若シ遠及シタル場合ハ雇主ニ於テ現前ニ尚肯  
 也ナル時ハ解雇スルモ異議ナキコト  
 十三 就業時間ハ午前八時ヨリ午後六時迄トス  
 十四 通學者ハ夕會代一日全十五銭ヲ支給シ始業時間ニ因リ合フヤ少取リ付コト  
 十五 但シ午後五時以後トス  
 十六 其新ニ通學者希望スル者ハ店主ノ許可ヲ受クルコト  
 十七 夫就寝時間ハ八時間トス  
 十八 夫入浴ハ午後十時頃トス  
 十九 昭和十二年八月一日ヨリ実施ノコト  
 昭和十二年七月二十六日  
 東京市神田區旅籠所一丁目二十一番地  
 重松製作所主  
 従業員代表

立會者 神田万世橋警察署 牧野豊次郎  
 特高主任 警部補  
 中村重遠  
 染谷保弘  
 重松健造

労務第一八三八號  
 昭和十二年八月十六日

警視總監 齋藤 樹

内務大臣 馬場 鏡一 殿  
 社會局 長官 殿

國民印刷株式會社ノ勞働争議ニ關スル件

要旨

本件前年日經團體難ニ基キ事業縮小後告ニ發端標記會社ニ勞働争議發生  
 此ノ旨有付標記會社ニ依リ圓滿解決ス

經營困難ニ基キ事業縮小後告ニ發端標記會社ニ勞働争議發生  
 解決ニテカカ其ノ状況左記ノ通りニ有之

一 争議發生ノ場所 神田區駿河台二丁目一番地

